

〈調査報告〉

小川シゲノから上田トシへの伝承 2

大谷 洋 一

- 目次
1. 解題
 2. 凡例
 3. 便所にお椀を入れられたニッパの命を救った女の話―1
 4. 便所にお椀を入れられたニッパの命を救った女の話―2
 5. 註

1. 解題

本稿は、平取町に在住する小川シゲノ氏（1921年平取町生まれ）と上田トシ氏（1912年平取町生まれ）の間で伝承されたウエベケレと呼ばれるアイヌ口頭文芸の報告である。前号で筆者は、この二人が実際に対面した状態で伝承された一話と採録テープが介在して伝承された一話の計二話を報告している。本報告の伝承においても筆者の採録テープを介在させているが、伝承の経緯が明確な資料として貴重であると思う。

伝承元である小川シゲノ氏は、穂別町に在住していた当時に聞き覚えた散文説話を日本語とアイヌ語を交えて語っている。それが採録テープを媒体として上田トシ氏に伝わり、アイヌ語だけの語りとして再生されることを期待していた。上田トシ氏はその採録テープを鑑賞する時、録音・再生機に向かい正座して目をつぶり、少し前屈みの姿勢をとる。そして物語の進行に合わせて相槌を打ちながら聞き込むのである。この物語については「初めて聞く、いいウエベケレだ」と聞き終わった後に感想を述べている。

表題について、両語り手と筆者の間で「便所にお椀入れられた話」と表現していたが、本報告では「便所にお椀を入れられたニッパの命を救った女の話」として、小川シゲノ氏の語りには「―1」を、上田トシ氏の語りには「―2」を表題末尾に付している。

以下に伝承と採録の経緯を簡単に記す。

〈伝承と採録の経緯〉

- ① 1950年代、穂別町仁和において当地出身の故・今泉ウメ氏（通称：ちっちゃいババ）が小川シゲノ氏に語る。
- ② 1996年9月25日午前、平取町貫気別において小川シゲノ氏から筆者が採録する。
- ③ 同日午後、平取町旭において筆者が上田トシ氏に上記の採録テープを聞かせる。
- ④ 1996年10月31日、札幌市中央区において筆者が上田トシ氏に採録テープの複写品を渡す。
- ⑤ 1996年11月22日、平取町去場において上田トシ氏から筆者が採録する。
- ⑥ 1997年4月25日、平取町旭において上田トシ氏から筆者が物語についての解説を採録する。

翻訳にあたって、小川シゲノ氏、上田トシ氏、鍋澤キリ氏のご協力をいただいた。また、原稿のモニターとなっていたいただいた方々からも貴重なご助言があったことを記して感謝申し上げる。

2. 凡 例

- (1) 本文では、原則として左側に語りの部分を、右側に語句の意味を記す二段組にしてある。
- (2) アイヌ語のローマ字表記について、小川シゲノの場合は右側に記し、上田トシの場合は左側に記す。
- (3) アイヌ語のカタカナ表記は、音韻交替により変化した音や「わたり」の音、言い差しなどを表記する。
- (4) アイヌ語ローマ字表記は、音韻交替により変化した音や「わたり」の音、言い差しなどを表記しない。例：ポインサム サンマ pon sisam san wa
- (5) 大文字のローマ字表記は、日本語であることを示す。
- (6) 分かち書きは、小川シゲノの語りとアイヌ語のカタカナ表記において、息継ぎなどによる音の切れ目などを重点に分け、アイヌ語のローマ字表記では一語とみなした単語ごとに分けて表記する。
- (7) アイヌ語表記における「、」や「,」は、言い差しなどで音が詰まった場合を示す。
- (8) 語尾に付けた「??」は、聞き取りや日本語訳が適切かどうか、今なお不明な箇所を示す。
- (9) ()内は、語句の意味や語りの場についての補足説明である。
- (10) アイヌ語のニスパ nispa (紳士、長者、物持ち、金持ち、旦那様)とカムイ (神、熊、自然、立派な人) は日本語訳においてもアイヌ語から借用したまま記す場合がある。
- (11) 本報告に関する資料は北海道立アイヌ民族文化研究センターが保管する。

3. 便所にお椀を入れられたニッパの命を救った女の話—1 (あらすじ省略)

(語り手：小川シゲノ／口演時間：13分40秒)

〈本文〉

……ニッパ アネヒネ アナン ⁽¹⁾	……nispā a=ne hine an=an
パクノ ニッパ イサム ニッパ ネ	……ニッパとして私は暮らしていた pakno nispā isam nispā ne
アコタヌ ビリ、タ イシカラ ホントムタ	またとないニッパであり a=kotānu ta iskar hontom ta
インネコタン ポロコタン アンペ	私の村に、イシカリの中程に inne kotan poro kotan an pe
ネーコタン ウシケタ それこそー	大勢の人が住む村、大きな村があったのだが ne kotan uske ta SOREKOSO
ニッパー ネットス、ポホ トップコロ ⁽²⁾ ワー	その村の所で本当にたいした nispā ne kusu, poho tup kor wa
オナハも、す、エキムネコロ	ニッパだったので、子供を二人持って onaha MO, SU, ekimne kor
ユツたり カムイと たくさん 獲って来る	父親も、す、猟に行くと yuk TARI kamuy To 鹿や熊を
その 自分の 親もそうやってー 山行けば	
熊でも鹿でも いーっぱい獲って来て	
何不自由な一し いたもんだもの こんどー	
「決して 何事あっても ネー そのー	ne その
イシカラブトウソ 行ったら駄目だど」って	iskar putu un イシカリ河口へ
そうゆうふうで アオナ イイェーして	a=ona i=ye 私の父親が私に言う
するもんだけど エキムネーすれば キナー	ekimne SUREBA kina 山へ行けば山菜
ブクサだり ウサ コロコニ ウサオカイベ	pukusa DARI usa korkoni usa okaype
持ってきて ア、アオナ アウヌさ やれば	行者にんにくや蔘や色々なものを a=ona a=unu SA YAREBA 両親へ渡すと
アウヌ いっしょけん ビリカノこさえて	a=unu ISSYOKEN pirkano KOSAETE
それこそ キナルル ⁽³⁾ こさえて 毎日日にち	私の母は一所懸命に上手に作って kinarur 山菜の汁物
ごっつおになって 食べていた	ごっつお (ご馳走)
もんだけども こんど 山さ行っただけー	

アウヌ アオナ イェバ してるの
自分、は、オハラキソウン オシソウン
ちゅうんだから ああ、親たち
昔は オシソウンに 夫婦座る一
子供ら一 オハラキソウンに
座るもんだから そうやっているうちに
アオナーとアウヌ イソイタッシリ

アヌコロ アナンルウェネ したけ その

イッカラプトウッタ オカニッパ一 ネ一

するもの ポホトッパコロして それこそ、
ニッパだから ウサチョイペッ ウサオカイベ
どっさりあるんだのに ポホさ こんど
嫁さんもらったけ こんど エキムネコロ
ユッだり カムイだり そのポホあと
いっぱい穫ってきて 段々にオナハケマパセ
する ラボッケ こんど その若い衆
エキムネすれば イセボも あたらない
ユも殺せない なん一も殺せないって
言う 話聞こえる 「なして それこそ
ニッパサニ だのに なんも食う、
穫れないちゅうことは どうゆ一うわけで
そうやって 穫れないんだべと思って
いる一」って その一 誰かかれか
昔だから 歩いて、、、

(筆者：噂?)

噂に聞こえて いるもの どうゆ一ふ一になって
そ一やってニッパボホ そ一やって 段々に、
動かれない 段々 こんど
具合悪くて ホッケしてる一ちゅうの
アウヌ アオナ イェバしたの
聞いていたんだとよ したんだけど
自分は また、まあ、今の娘らったって

a=unu a=ona yepa 私の父母がそれを言う
oharkisoun osisoun 左座と右座
ちゅうんだから (というのだから)
osisoun 右座に
oharkisoun 左座に

a=ona TO a=unu isoytak siri
私の父さんと母さんが会話する様子を
a=nu kor an=an ruwe ne SITAKE SONO
私は聞いていたのであったが、その
iskar putu ta oka nispa ne
イシカリ河口にいるニッパである
poho tup kor 子供を二人持つ
usa coypep usa okaype 食器や色々な物が
poho その息子
ekimne kor 山へ行くと
yuk 鹿/kamuy 熊/poho その息子
onaha kemapase 父が年老いる
rapokke その間に。その一方で。
isepo ウサギ
yuk 鹿
nispa sani ニッパの子孫

nispa poho ニッパの息子

hotke 横になる

a=unu a=ona yepa 私の父母がそれを言う

若い娘になって 山行って ニナしたり
 色々なことして、で、こんど
 アコタヌーから こんど ちょっと離れた
 ポロ ケナシ アン して その
 ケナシ オッタ アヲバアニネ

nina 薪穫り
 a=kotanu 私の村
 poro kenas an 大きな木原がある
 kenas or ta arpa=an hine
 木原の所に私は行って

昔だから 下手でも 歌 歌って
 ヤイサマでも ゆって いたけ、
 あのー 榎の木一本と 柳の木一本と
 こーくっついて 立っていた そしたけ
 こんど そのー 根っ子の上に なんか
 どっかにか 座っているうちに そのー
 榎の木 キタイケヘ ススウェススウェ

yaysama 即興歌。叙情歌。

したけ、あのー その榎の木の 言うのは
 ああ、「お前 あのー 柳ネーするもの その
 イッカラ ホントム⁽⁴⁾ タ アン ニッパポホ

kitaykehe susuwesusuwe
 そのてっぺんが揺れ動く

具合悪いの お前わからんのかー？」って
 そうゆーふうにゆって して「エアニはー？」
 って 言ったけ、え、あのー
 その榎の木は「エアニ 俺わからんだって
 お前わからんのかー？」って ゆったけ
 「わかるー」ってゆって こんど
 そのキタイケ ススウェススウェしたとよ
 そして そのキタイケ ゆうのは 「タン
 イッカラプトゥウン ニッパ ポホウタリ

ne である
 iskar hontom ta an nispa poho
 イシカリの中ほどにいるニッパの息子

すごく またぎ上手で またぎして
 いっぱい 鹿でも熊でも 殺していたのに
 こんど マチヒー、嫁さんもらって
 そしたら 夜昼 熊穫って 鹿穫って
 マラットネー したけ
 ネワ アンペ イルシカワ⁽⁵⁾

eani お前
 kitayke susuwesusuwe てっぺんが揺れ動く
 tan この
 iskar putu un nispa poho utari
 イシカリ河口のニッパの子供たちは
 またぎ (狩猟)
 macihi 彼の妻 (ニッパの息子の嫁のこと)
 marattone 賓客になる
 ne wa an pe iruska wa
 そのことで彼女が腹を立て

こんど ホクフ 茶碗 持って行って
 メノコ ルーオルン オマレ⁽⁶⁾
 しているーんだって そして ネワアンペ
 ね、のた、、その祟りでもって そのホクフ
 具合悪くて イベカ エアイカッ、、
 もう 二、三日したら 死ぬからー、、
 アイヌ カッケマッ エネー するから
 エアッパ ワ、、エオナハーさ 言わないで
 家帰って行ったら そのなりー
 エアッパワ えーって、、そうゆうふうに
 その柳の キタイケへ 言ったの
 聞いたんだと⁽⁷⁾ その女がなー
 して 聞いたもんだから こんど
 そのなりー うちさー ニナして
 しょって 帰ってから こんど 着替えして
 昔でも 着替えして 顔洗って いいー女に
 こーなって サナーン して
 ソイタ シムシッカアン したけ
 そのー 嫁さん 出てきて 「どっからか
 ウェンメノコ、ウ、、どっから来て
 ソイタ いるー」ったけ その親
 「なんぼ ウェンして 汚いかっこしても
 いいから、あの、アフンテー」って
 そうゆうに言って 言うもんだから
 だけ、そのー 嫁さん 出はって来て、、
 「ウェンメノコへ？ 何しに来たー？」って
 ゆって 悪口 ゆうながら 自分さ入って
 行って したけ ほんとに みんなー
 それこそ イナウケするもの イナウケして
 はー、こわいこわい、、
 ソイネだり ヌサオッタだり いて
 それこそ カムイノミして その息子
 死ぬばかりのところに みんな ウタヲ
 チセ シッテノ して いて
 ラポッケ 自分入って行っただけー、す、、

hokuhu その夫
 menokoru or un omare 女便所へ入れる
 ne wa an pe そのことで
 hokuhu その夫
 ipe ka eaykap 食事もできない

 aynu katkemat e=ne お前は人間の淑女だ
 e=arpa wa e=onaha SA お前が行って父親へ
 それなり (そのままの格好で)
 e=arpa wa お前が行って
 kitaykehe そのてっぺんが

 して (そして)
 そのなり (その格好) /nina 薪採り
 しょって (背負って)

 san=an 私が下りる
 soy ta simusiska=an 外で咳払いをする

 wen menoko 貧乏な女
 soy ta 外に
 wen 貧乏する。悪い。
 ahunte 入れろ

 だけ (すると)
 wen menoko he? 貧乏女か？

 したけ (すると)
 inawke イノウケ削り。木幣削り。
 こわいこわい (疲れた疲れた)
 soyne 外に出る /nusa or ta 幣場の所に
 kamuynomi 神に祈る
 utar 人々
 cise sikte no SITO 家いっぱいの人
 rapokke その間に。その一方で。

あの、アペケシ ウトゥ、トゥル ペカ
 オハ、オハキソンワ 座るとこ
 こさえて いるから そこさ
 自分 座って、ええ、 したけ
 「すったら者 かつこも悪い 者、え、
 何しに来て そうやって いるの」って
 そうゆって みんな ピヌピヌノー 悪口
 自分さ 言ったんだけども けっして
 そこでは おつけるなよー
 おつけないで 入って行って ちゃんとー
 こーゆーわけだからちゅうこと
 「エイエ しないば、ニッバカムイー⁽⁸⁾
 えー、それこそー ライするから」って
 そーゆわれたもんだから 入って行って
 すーぐ そのー で、女だけどもー
 フチアペーさ、こーなんとかしてから
 こんど 自分 そこで、え、
 トゥスシノッチャ エパウテンケ⁽⁹⁾ して
 トゥスーして タッネカネ タン オッカイボ
 ニッバカムイ ポホ アナッネ タ、あの一
 こうゆうわけして エイワンケー 茶碗
 メノコル オッタ オマレワ
 アンルウェ アヌカラ クスー
 こうゆうふうに「スンケヘ ネヤー？」って
 そうゆって トゥスシノッチャ⁽¹⁰⁾ ゆって
 トゥスして そしたけ、見たけ
 「ほにほにも アコ、ポホーの茶碗
 ない から きつとしたら ウェンメノコー
 そうやって ルコロ、オサム⁽¹¹⁾、オマレ
 したんだべから ほらほら」って

apekes utur peka 囲炉裏の下座を
 oharkison wa 左座に
 こさえて (作って)
 すったら者 (そんな者)
 pinupinu no ささやくように
 おつけるなよー (怒るなよ)
 e=ye お前が言う
 ray 死ぬ
 huci ape 火の神
 tusu sinotca epawtenke SITE
 巫女の歌でそれについて彼らに指図して
 tusu SITE tapne kane tan okkaypo
 神憑って次のように言った「この青年、
 nispa kamuy poho anakne ta,
 ニッパの立派な人の息子さんは、
 eywanke TYAWAN 彼が使う茶碗を
 menokoru or ta omare wa
 女便所の所に (彼女が) 入れて
 an ruwe a=nukar kusu
 いたことを私は見たので
 sunke he ne ya? 嘘であるか?
 tusu sinotca 神憑りする歌
 tusu 神憑り
 ほにほにも (本当に) /a=poho 私の息子
 wen menoko 悪い女 (息子の妻のこと)
 ru kor, , asam, omare 便所の、底に入れる
 したんだべから (したのだから)

そうゆっていって 何 昔だのに
なにで、え、 さらったけ 便所の中に
ニッパ 茶碗 入っていて こーんど
みんなー それこそ きれいに洗って
ネウンボカ ルコロカムイ

ネウンボカ ニッパ、ア、、サンペへ

それこそ 何とかして助けてくれー」って言って
あれから みんなー イナウーケしてー
いっしょけんぺーなって ネー茶碗持って来て
それでー、、え、か、、イナウーつけて
いっしょけん お祈りしたけ、、もー息止まる
ばかり 心臓止まるばりなやつ

こんど 心臓 動いて 段々に さ、
水飲ませてー 口から まかれていたけど
段々に 飲んだっていうので もう
みんなー おーさわぎして こんど

そっから あのー 自分 帰って来てー
自分の家さ来て タッネカネ あのー
アオナー アウヌフさ 言えば

「行くなー」って 言われるから
こうゆうわけして じぶーん 行ってー
こうゆうふうにしてー「助けてやって来た」って

そう言ったけ あれから「なして したら
ゆわないで 行くのー? ゆっていけば」、あー、
アオナーも「自分さ、ついて行くのに」って
そーゆわれたけど その、も、おかげさんで
そのの ニッパポホ 元気になって そしたけ
その女 こんど、、自分のー 布団しょって

出はってしまったって ゆう
パハウ アヌコロ アナン だけど

シネー マッネポ アネするから
あー、自分が 野菜採って来ないうちは
食えないもんだから 山さ行ってー

"neun poka ru kor kamuy
何とかして便所のカムイよ
neun poka nispa sanpehe
何とかニッパの心臓を

あれから (それから)
いっしょけんぺー (一所懸命) /ne その
inaw 木幣。御幣。
いっしょけん (一所懸命)

tapne kane このようなわけで
a=ona a=unuhu 私の父母

なして したら (何故それならば)
a=ona 私の父/自分さ (お前に)

nispa poho ニッパの息子

pahaw a=nu kor an=an 噂を私は聞いていた
sine matnepo a=ne 一人娘の私である
野菜 (山菜)

ブクサだりー 何だりかんだり ニナして
 そしているラポッケ こんど そのー
 イッカヲプトゥン ニッパ こんど エッして

その「嫁さんにちょうだい」と、
 そうすれば こんど「親たちも
 自分らの前にチセこさえて ちゃんと
 守って見てやるからー」って ゆうこと
 もー よるひるー チャランケみたいに
 ゆわれて とーうとう こんど
 アシヌマ ネー オッカイポエウン

嫁に行つて、え、「あ、あんたいればこそ
 自分 こうやって 元気になって
 こうゆーふーに なつたのだから」ってゆつて
 自分さ そのおやんじ 大事に大事にー
 して くれてる時に 自分の
 オナハ ウヌフ シネーマツネポ アネー

したけども そばに ビッカチセこさえてー
 そして 孫いっぱい出来たもんだからー、
 その孫も 自分の、え、親にー 見てくれる間
 ユもカムイも いーっぱい殺して こんどー
 そのように トゥスーして しとー救うよーに
 そのように カムイノミしてもらうから
 あーっちこちから 世界中からー「拝んでくれー」
 ってゆうー人ら いっぱい来てー、え、
 自分、急にそうなんだない こんど
 イナウー 持って行って ネー 柳の木さと
 榎の木さとー イナウつけて「エチオカー
 いるーからーこそ こうやって 自分が
 カムイーにな、なつてー 人助けたんだから
 あんたらもー 何かあつたときは 決して
 えー、ちゃんと 人助けて やつてちょうだい」
 っていつて イナウー そのー 榎の木も

pukusa 行者にんにく／nina 薪採り
 rapokke その間に。その一方で。
 iskar put un nispa KONDO ek SITE
 イシカリ河口のニッパがまた来訪して

cise 家／こさえて（作つて）

caranke 談判

asinuma ne okkaypo eun

私はその青年の所へ

おやんじ（親父。ここでは夫を指す）

onaha unuhu sine matnepo a=ne

両親の一人娘の私であった

pirka cise 立派な家

yuk MO kamuy MO 鹿も熊も

tusu 神憑り／しとー（人）

kamuynomi 神へ祈る

inaw 木幣。御幣。／ne その

ecioka お前たち（柳と榎の木のこと）

柳さもー いっぱい イナウつけて

ちゃんとして、神様になって しと助けて しと (人)

世界中のしと みんな 救ってやったっていう

昔話、ほによ、いつ、いつだか聞いたことある ほによ (本当によ)

そんなことは、もう、、、

4. 便所にお碗を入られたニッパの命を救った女の話—2

(語り手：上田トシ／口演時間：24分30秒)

〈あらすじ〉

インカリの中程に両親と暮らす娘が私です。

父は名猟師だったので、幼い頃の私は何不自由なく暮らしていた。しかし、両親が年老いてからは成長した私が山へ行って色々な食べ物を運び両親を養っていた。ある時、両親が囲炉裏端で話合っているのが聞こえた。それは、インカリ河口の大きな村に住むニッパの一人息子は名猟師であったが急に獲物が捕れなくなり、病気になって寝込んでいるという話だった。私はいつものように薪採りのため、山へ行った。薪を集め終わり休んでいると、そばに美しい柳と榎の木が並んで立っていた。その木が揺れる音が人間の話し声に聞こえた。それは河口に住むニッパの息子が病気になった原因についてであった。「ニッパの息子はあまりにもたくさん熊を獲っていたため、熊送りの準備に疲れた若い奥さんが夫を病気にするため、夫のお碗を女便所の底に伏せて入れて大小便をかけていたのだ。病気になったニッパの息子はもう二、三日で死にそうだ。このままにしてはおけないので、そこにいる精神のよい娘にでも危急を伝えなければどうにもならない。その娘よ、このことを誰にも話さずにインカリ河口へ行きなさい」ということであった。私は驚いて自宅に戻り、どこへ行くかも誰にも言わずにインカリ河口の村に下りていった。ニッパが住んでるらしい家の前で物音を立てると、家の中から女が出てきて「恥ずかしくもなく身なりの悪い女がやって来た」とののしられた。しかし、家の中から私を家に入れるように指示があったので、私はかしまりながら家に入った。家の中にいた女たちは、小さな声で私の悪口を言っていた。

私は火の神へ祈った後、神憑りの状態になってニッパの息子の病気の原因を「狩のうまい夫を恨んだ妻が夫のお碗を女便所に入れたからだ。嘘か本当か調べてみよ」と告げた。家族がお碗を探すと本当になくなっていたので、急いで村人が女便所をさらった。すると本当にお碗が伏せて置かれていたのだった。村人がそのお碗をきれいに洗って御幣を巻き付けてから薄いお粥をニッパの息子に飲ませた。今にも死にそうだった男が回復したのを見届けてから、何も言わずに私は自宅に帰っ

た。ことの成りゆき全てを父親へ言うと、父は喜んで私を誉めてくれた。翌日、イシカリ河口のニッパが息子を助けてくれたお礼の品を持って来たが、父親は遠慮して受け取らなかった。しばらくして今度は、命を救われたニッパの息子も伴ってやって来た。その息子は感謝の言葉を言いながら、私を「妻にほしい」と言うのだったが、父は「私たちは貧乏ですし、たった一人の娘をやることも出来ない」と断った。すると、そのニッパの息子は私の両親も一緒に連れて行って老後の面倒をみることを約束した。それで父親も承諾してイシカリ河口の村へ行って暮らすことになった。村人は両親の住む新しい家を建ててくれた。私はこの村に住んでからも神憑りをして川筋の人々の相談にのっていた。子供たちへは「元々はイシカリの中程に暮らしていた私たちなのだから、中程の人であっても河口の人であっても仲良く交際するのだよ。それから、先祖供養も忘れずにしてくれよ」ということをよく言い聞かせて私は死んだのだと、一人の婦人が語った話です。

〈本文〉

イシカラ ホントモタ⁽¹²⁾ アオナアン

iskar hontomo ta a=ona an

イシカリの中程に私の父がいて

アウヌアンヒネ オカアンペネヒケ

a=unu an hine oka=an pe ne hike

母がいて私が暮らしていたところ

アオナハー パッ イソングル

a=onaha pak isonkur

父ほど狩の上手な者は

イサムグルネワ ネッアエルスイカ

isam kur ne wa nep a=e rusuy ka

いないので私は何を食べたいとも

アコンルスイカ ソモキノ アナン

a=kor rusuy ka somo ki no an=an

欲しいとも思わずに暮らしていた。

ポニータ アナッネ ネアコロカ

pon hi ta anakne nea korka

幼い頃はそうであったが

タネ、エ、ポロアニー、イ、オラー

tane poro=an hi ora

今や私が成長した時から

アオナハカ アウヌフカ

a=onaha ka a=unuhu ka

私の父も母も

ケマバセ パヒ オロワノ アナッネ

kemapasepa hi orowano anakne

年老いてからというもの

ヤイカタ エキムネアーンワ ウサオカイベ

yaykata ekimne=an wa usa okaype

自分で山へ行って色々なものを

アルラワ ア、アオナ アウヌウタヲ

a=rura wa a=ona a=unu utar

私が運んで父と母たちを

パロアオイキコロ アナン ワ	
paro a=oyki kor an=an wa	養いながら暮らして
オラーノ アオナー アウヌー	
orano a=ona a=unu	それから父と母は
イコブンテッア イコブンテッアコロ	
i=kopuntek a i=kopuntek a kor	私に感謝し続けると
キナラタッケッ ムンラタッケッ	
kina rataskep mun rataskep	山菜の混ぜ煮と野草の混ぜ煮を
アカラワ、ア、、 アオナ ウタラ	
a=kar wa a=ona utar	私がつけて父親たち
パロアオイキネヤー ニナネヤー	
paro a=oyki ne ya nina ne ya	を養うとか薪採りとか
アキコロ アナーン ペネヒケ オラー	
a=ki kor an=an pe ne hike ora	しながら暮らしていたところ
アオナハーウタラ、エネ、エネハウエオカヒ、イ、、	
a=onaha utar ene haweoka hi	私の父たちが次のように言った。
アソソケタ アアーンワ、ア、、	
arsoke ta a=an wa	囲炉裏をはさんだ向かい側に私が座って
イヌアンコロ、ア、アオナハ アウスフ	
inu=an kor a=onaha a=unuhu	聞いていると父と母の
ウコイタッハウエ エネ ハウエオカハウエ	
ukoytak hawe ene haweoka hawe	会話のこのような話を
アヌヒ イッカラブトゥフタ、ア、シノ	
a=nu hi "iskar putuhu ta sino	私が聞いた。「イシカリ河口に本当に
インネコタナン コタンコンニッパ ネアッ	
inne kotan an kotan kor nispa ne a p	たくさんの人が住む村の村長だったが
ニッパアナッ アスルアッ ネヤー	
nispa anak asuru as ne ya	ニッパこそは評判が高いとか
イソンナ ⁽¹³⁾ アスルアッコロ アンハウエ	
ison asur as kor an hawe	名猟師としての高名な噂
アヌコロ オカアンペネアッ	
a=nu kor oka=an pe ne a p	を聞いていたものだったが
シネ ポータクッ ⁽¹⁴⁾ コロバヒネ、エ、、	
sine po takup korpa hine	たった一人だけ子供を持って

アクス オラー ネーイポネクル タネー
 akusu ora ne iponekur tane
 ウサー ユッネチキ カムイネチキ
 usa yuk ne ciki kamuy ne ciki
 エアウナルラコロ アンラポッケ、エ、オラーノー
 eawnarura kor an rapokke orano
 ネー オンネクルカ タネー エイタサ
 ne onne kur ka tane eytasa
 エキムネーカ スクリコロ アン ヤッ
 ekimne ka nukuri kor an yak
 アイェーヒ アスコロ オカアンワ
 a=ye hi a=nu kor oka=an wa
 シ、シノー シノ ニッパネバワ
 sino sino nispa ne p awa
 シアスルアッテ ハウエ アスコロ オカアン
 siasuruaste hawe a=nu kor oka=an
 ペネー セコロ アオナハ アウヌフ ウタラ
 pe ne" sekor a=onaha a=unuhu utar
 ウコイタッハウエ アラソケタ アン⁽¹⁵⁾、
 ukoytak hawe arsoke ta an,、
 アナンワ アスコロアナン ペネアッ
 an=an wa a=nu kor an=an pe ne a p
 オラースイー アオナウタラ、ア、
 ora suy a=ona utar
 エネ ハウエオカヒ、イ、タパン ハワシ
 ene haweoka hi "tapan hawas
 コパッケウン イテキ エサンペネー セコロ
 kopakke un iteki e=san pe ne" sekor
 アオナウタラ イェコロカ アラバアン クニカ
 a=ona utar ye korka arpa=an kuni ka
 アラムカ ソモキノ アナン ペネアッ
 a=ramu ka somo ki no an=an pe ne a p
 ラポッケ オラー パハウネ アヌアクス
 rapokke ora pahaw ne a=nu aksu

すると息子というのは今や
 鹿でも熊でも（獲物にして）
 運んでいたところ、それから
 その老人（村長）も今はあまり
 狩に行くことも出来なくなったと
 言われていることを私は聞いて
 本当に真のニッパである者であったが
 高名な噂を聞いていた
 ものであった」と両親の
 会話を囲炉裏をはさんで
 私が聞いていたものだったが
 それからまた、私の父たちが
 このように言った。「この噂のある
 方へは決してお前は下りるなよ」と
 父たちが言ったけれども私が行こうなどは
 思いもせずにはいたものであったが
 そしてそれから噂として聞いていると

エアキーンネ ネー イシカラホントモウン

"earkinne ne iskar hontomo un

イボネクル エキムネコロ イセボボカ

iponekur ekimne kor isepo poka

チロンヌッボカ ネッカ エオムケン ワ

cironnup poka nep ka eomuken wa

イワッコロ オラーノ マクネヒネ エネ

iwak kor orano "mak ne hine ene

エー、オムケンアン セコロ ハウエアンコロ

omuken=an" sekor hawean kor

オットウラノ イワッコロ アン アッ

ok turano iwak kor an a p

オラー ヘントマニワノ シエイエエ ワ

ora hentomaniwano siyeye wa

ホッケワ アンペネー セコロ ヘメム

hotke wa an pe ne" sekor hemem

アオナウタラ ハウエオカ ハウエー

a=ona utar haweoka hawe

アヌコロ アナン ベネ アッ

a=nu kor an=an pe ne a p

シネアンタ スイ ニナアネクス

sine an ta suy nina=an kusu

エキムネアン ルウェネアクス

ekimne=an ruwe ne akusu

ニナアン ヒネ オラー ニッケーカ

nina=an hine ora niske ka

アカラ ヒネ ネー ニッケー、ア、、

a=kar hine ne niske

アセ クニーネ アカラ ヒネー

a=se kunine a=kar hine

ネー エコパシ アアン ヒネ

ne ekopas a=an hine

アナン ラポク、、、サ、、

an=an rapok,, sa,,

「本当にそのイシカリの中程へ

その息子が狩に行くとウサギさえも

キツネさえも何も獲ることが出来ずに

帰ってから『どうしてこのように

私に獲物がないのだ』と言いながら

溜息をしながら帰っていたものだが

いつの頃からか病気になるって

寝込んでしまった」とも

父たちが言った話

を聞きながらいたのだったが

ある日、また薪採りのため

私が山へ行ったところ

薪採りをしてから薪の背負い荷も

作って、その薪の背負い荷

を背負うようにこしらえて

寄り掛かかって

いたところ、、、

ピリーカワ オケレ、 、 スス トゥンニ⁽¹⁶⁾
 pirka wa okere susu tunni
 ウサムタ ロシキワ オカー、 、
 usam ta rosiki wa oka, ,
 サマター シニアン ヒネ
 sama ta sini=an hine
 アナーン ルウェネアッ
 an=an ruwe ne a p
 ネー トゥンニ キタイケへ、 、 、
 ne tunni kitaykehe, , ,
 シスイエスイエ、 エ、 、 ペコロ イキー フム
 sisuyesuye pekor iki hum
 アヌアクス オラー ネアー ススエウン
 a=nu akusu ora nea susu eun
 ウン、 、 ネー トゥンニ ニテッ エネー
 un, , ne tunni nitek ene
 ハウエアニー オハイヌアン⁽¹⁷⁾ ハウエ
 hawean hi ohainu=an hawe
 ネー ススエウン イッカラブトゥウン
 ne susu eun "iskar putu un
 イポネクル マッネヒネー
 iponekur mak ne hine
 シエイエヒネヤ エエラムアーン
 siyeye hi ne ya e=eramuan"
 セコロ オ、 、 ネー ペロ、 オ、 、 スス
 sekor ne pero susu
 コウエペケンヌ ルウェネアクス
 kowepekennu ruwe ne akusu
 アエラミシカリー セコロ ネー スス
 "a=eramiskari" sekor ne susu
 ハウエアニヒネ オラー ネー イポネクル
 hawean hine ora "ne iponekur
 シエイエモトホ エエラムアーン セコロ
 siyeye motoho e=eramuan" sekor

とても美しい柳と榎の木が
 並んで立っていた
 そばで私が休んで
 いたのであったが
 その榎の木のでっぺん
 が揺れ動くような音
 を私は聞くとその柳へ
 その榎の木枝がこのように
 話している声を私は聞いた
 その柳へ「イシカリ河口の
 息子がどうして
 病気になったのかを知っているか？」
 とその榎が、榎が柳
 へ質問すると
 「私は知らない」とその柳が
 言ってから「その息子
 の病気の原因をお前は知っているのか？」と

スイ ネー スス ペロコウエベケンヌアクス	
suy ne susu pero kowepekennu akusu	また、その柳が檣に尋ねると
アエラムアン ワー セコロ スイ ネー ペロー	
"a=eramuan wa" sekor suy ne pero	「私は知っているよ」と、またその檣
キタイケヘ シスイエスイエ コロ、オ、	
kitaykehe sisuyesuye kor	のてっぺんが揺れ動きながら
ハウエオカハウエ アヌワ、ワ オラー	
haweoka hawe a=nu wa, wa ora	言う話を私が聞いていたら
マッネワ シイエイエ モトホ	
"mak ne wa siyeye motoho	「どうして病気の原因
エエラムアン ハウエー セコロ スーイ スス	
e=eramuan hawe" sekor suy susu	を知っているのだ？」と、また柳が
ハウエアン ルウエネアクス	
hawean ruwe ne akusu	言うと
ネア ペロニタイ ⁽¹⁸⁾ エネ ネー ペコロ	
nea pero nitek ene ne pekor	その檣の枝が次のように
シスイエスイエフム アヌヒー、イ、	
sisuyesuye hum a=nu hi	揺れ動く音を私は聞いた。
ネー イッカラ プトゥウン ニッパ	
"ne iskar putu un nispa	「あのイシカリ河口のニッパ
イボネクル エーイタサ イソングル	
iponekur eytasa isonkur	の息子はとても狩の上手な者
ネワ オロワノー ユッネチキ	
ne wa orowano yuk ne ciki	であって、鹿でも
カムイネチキ エアウナルラッネクス、	
kamuy ne ciki eawnarura p ne kusu	熊でも運ぶので
ウン、シネチュッ ⁽¹⁹⁾ カ オハカ	
sine cup ka oha ka	一ヶ月もあけることも
ソモキノ、オー、カムイホブニレ コロ	
somo ki no kamuy hopunire kor	なく、熊送りをして
パテッ アーン ウサ カムイネヤ	
patek an usa kamuy ne ya	ばかりいて、熊とか
ユッネヤ エアウナルラッネクス	
yuk ne ya eawnarura p ne kusu	鹿とかを運ぶので

カムイホブニレヒ イ、、

kamuy hopunire hi

イボネクル マッコロ アクス

iponekur mat kor akusu

ネ マチヒ ペウレマツ、ア、、ネー

ne macihi pewre mat ne

カムイホブニレヒ シンキー ワ

kamuy hopunire hi sinki wa

ネウンカ アヘコテニッパ アカラワ

"neun ka a=hekote nispa a=kar wa

イベサツ ヤクン ラポッケ

ipesak yakun rapokke

シニアンルスイ セッコ ネー、、

sini=an rusuy" sekor ne

イマチヒ ネー メノコ ヤイヌワ

imacihi ne menoko yaynu wa

クスーネ、エ、、コタンコンニッパ ポホ、オ、、

kusu ne kotan kor nispa poho

オイベビヒ アシシル⁽²⁰⁾ アサム オマレ

oypepihi asinru asam omare,

オ、ウッシノ⁽²¹⁾ オマレヒネ、エ、、

upsino omare hine

カシウン オクイマ オソマッコロ

kasi un okuyma osoma kor

アーンヒクスー、、イベサツワ ネツ、ネッカ

an hi kusu ipesak wa nep ka

チロンヌッポカ ネッカ エオムケンッコ

cironnup poka nep ka eomuken kor

アンラポッケ オラー ネワアンベ

an rapokke ora ne wa an pe

クス シェイエワ タネ、エー、、

kusu siyeye wa tane

トゥッコレレコ ネワー ライクニー

tutko rerko ne wa ray kuni

熊送りのこと、、、

息子が奥さんを持ったところ

その奥さんは若い女であり

熊送りのことに疲れて

『主人へ私が何とかして

狩を下手にすれば、その間に

休みたい』とその

妻である女が思っ

それで、その村長の息子

の食器を便所の底に入れ、

伏せて入れて

その上へ大小便をしながら

いたために狩が下手になって何も

キツネすら何も獲れずに

いたところ、そういうことだった

ので病気になって今や

二、三日して死ぬばかりと

アテレコロ アン ルウェネー コロカ	
a=tere kor an ruwe ne korka	待たれているのだが
ネノー アアヌヤッカ ウェンクス	
nenō a=anu yakka wen kusu	そのままにはおけないので
ターン ポンメノコ パクノ ケウトウム	
tan pon menoko pakno kewtum	この娘ほどの精神の
ピリカ ポンメノコ イサム クスー	
pirka pon menoko isam kusu	良い娘はいないので
タンボンメノコ ヘネ エウン アイェワ	
tan pon menoko hene eun a=ye wa	この娘へでも言って
アアスラニ ヘネー キ、	
a=asurani hene ki,	危急を知らせるなりする、
ソモキ ヤクン アナッネ エネネヒーカ	
somo ki yakun anakne ene ne hi ka	しなかったならば、どうにも
イサム ルウェネワー セコロ、セコロ	
isam ruwe ne wa" sekor, sekor	ならないことですよ」と
ハウエオカ、ア、ペロー ススー ニタイ ⁽²²⁾	
haweoka, pero susu nitay	話した。榎と柳の枝
ウコイタッ ハウエアニ オラー	
ukoytak hawean hi ora	が会話して、それから
タンボンメノコ エイワクワ エウニタ	
"tan pon menoko e=iwak wa e=uni ta	「これ娘よ、お前が家に帰って
エアラバ ヤッカ タッネ ネワー	
e=arpa yakka tapne ne wa	行っても、これこのように
イシカラプトゥウン アラバアンルウェ、セコロ	
iskar putu un arpa=an ruwe sekor	イシカリ河口へ行くことと
アンペ アナッネ イテキ エイエノー	
an pe anakne iteki e=ye no	いったことは、決して話さずに
ナニー、エ、エサンヤッ ピリカナー	
nani e=san yak pirka na"	すぐ下がったら良いぞ」
セコロ、カ、ハウエオカバ ハウエー	
sekor, haweokapa hawe	と言った話
アヌーヒワ オラー イヨクヌレアンコロ	
a=nu hi wa ora iyokunnure=an kor	を聞いて私は驚くと

ナニー ネア ニッケ アセヒネ

nani nea niske a=se hine

イワッアン ヒネ ニッケー アアヌーヒネ

iwak=an hine niske a=anu hine

オラー、ア、アフナーンカ キーアコロカ

ora ahun=an ka ki a korka

タッネ ネワー イッカラ ウン

tapne ne wa iskar un

サナンクス、、プトゥウン サナンクスネー

san=an kusu, putu un san=an kusu ne

セコロ アンペ アナッネ ソモ アイェノ

sekor an pe anakne somo a=ye no

ナニー オラー サナン ヒネ イッカラ

nani ora san=an hine iskar

プトゥフタ サナン ネー、コ、

putuhu ta san=an ne, ko,

コタンコンニッパー ネヤッ アイェッ

kotan kor nispa ne yak a=ye p

ネクス オロタ アッバアン ヒネ ソイタ

ne kusu oro ta arpa=an hine soy ta

シムシッカアン⁽²³⁾ ルウェネアクスー

simusiska=an ruwe ne akusu

チセオンナイワ メノコ ソイエネヒネ

cise onnay wa menoko soyene hine

イヌカラ ルウェネアクス オラー イコパッロター

i=nukar ruwe ne akusu ora i=kopasrota

ヘマンタ、エッ ワ、、カラヒネ

"hemanta, ek wa, kar hine

イミルウェカ ルウェン、、ウエンメノコ

imi ruwe ka wen, wen menoko

ソモ ヤイトマノ、、エッ ルウェアン

somo yaysitoma no ek ruwe an"

セコロ ハウェアンコロ イコパッロタコロ

sekor hawean kor i=kopasrota kor

すぐにその薪の荷物を背負って

帰ると荷物を置いて

それから（家に）入ったけれども

このようなわけでイシカリへ

下りるつもり、、河口へ下りるつもりである

といったことは言わずに

すぐにそれから下りてイシカリ

河口に私は下りた。その

村長であると言われる者

なので、そこに行って外で

物音を立てると

家の中から女が出てきて

私を見るとののしった。

「何しに、来て、、して

衣服もみすぼらしい貧乏女が

恥ずかしくもなく来たものだ」

と言いながら私をののしりながら

アフナッ オラー ソイタ、アー、
 ahun a p ora "soy ta,
 ウェンクル サニー ソイタ エッワ アン
 wen kur sani soy ta ek wa an
 ルウェネー セコロ ハウエアンハウエ アサクス
 ruwe ne" sekor hawean hawe as akusu
 ネウンネヤッカ アフンルスイ クス
 "neun ne yakka ahun rusuy kusu
 エッペ アナッネ アアフンケッ ネワー
 ek pe anakne a=ahunke p ne wa"
 セコロ ハウアッハウエ アヌアクス
 sekor haw as hawe a=nu akusu
 オラー スイ ソイエネヒネ オラー
 ora suy soyene hine ora
 イアフンケクス イエヒクス
 i=ahunke kusu ye hi kusu
 アッ、アフナン オッパッアン
 ahun=an wa oripak=an
 シヌカネ レイエカネ アフナーン ヒネー
 sinu kane reye kane ahun=an hine
 アペケットウッタ アナーン アコロカ
 apekestur ta an=an a korka
 あのー、チセコンニッパウタラ、アウナー⁽²⁴⁾、
 ANO cise kor nispa utar awna、
 アペサムワ ア、エッテワ エッ セコロ
 apesam wa "ekte wa ek" sekor
 アイェッ ネクス アペサムン
 a=ye p ne kusu apesam un
 オリパットゥラ アッパアンヒネ アアーンヒネ
 oripak tura arpa=an hine a=an hine
 アナン ルウェネアクス オラーノ
 an=an ruwe ne akusu orano
 メノコウタラ ビヌビヌコロ
 menoko utar pinupinu kor

中に入ってから「外に
 貧乏人の血統が外に来て
 います」と言う声がすると
 「どうであっても入りたくて
 来た者は入れさせるものですよ」
 と話す声が聞こえると
 それからまた外に出て来てから
 私を入れさせるために言うので
 入ってから私は恐縮した
 ずりながら這いながら入って
 木尻座にいたけれども
 家の主人たちが内側、
 炉端から「来させなさい」と
 言われたので炉端へ
 恐縮しながら私が行って座って
 いると、それから
 女たちがひそひそと

ヘマンタカラ ヘネ ヤイジトマカ
 "hemanta kar hene yaysitoma ka
 ソモキノ ウェンクル マッネポホ
 somo ki no wen kur matnepoho
 イミルウェカ ウェン、⁽²⁵⁾、ルヤンベ
 imi ruwe ka wen, , wen pe
 エネ ヤイジトマカ ソモキノ
 ene yaysitoma ka somo ki no
 ニッパオルン アフン セコロ ビヌビヌノ、オ、、
 nispa or un ahun" sekor pinupinu no
 イイエハウエ アヌコロ アナン コロカ
 i=ye hawe a=nu kor an=an korka
 チセオンナイタ アナッネ ネーヤカイエ
 cise onnay ta anakne ne yak a=ye
 シイエイエ オッカヨー ビッカニケタ
 siyeye okkayo piskanike ta
 ソイタネヤ チセオンナイタネヤー
 soy ta ne ya cise onnay ta ne ya
 カムイオロイタッ ウタラ ニッパウタラ オカ
 kamuy or oytak utar nispa utar oka
 ハウエ アヌー、ア、アヌネヤ アヌカラネヤ
 hawe a=nu, a=nu ne ya a=nukar ne ya
 アキコロ アナン ラポッケ オラー
 a=ki kor an=an rapokke ora
 アベサムタ アアン コロ オラー
 apesam ta a=an kor ora
 タッネカネ ネワー
 tapne kane ne wa
 イカオバサンクス サナン ルウェネクス
 ikaopas=an kusu san=an ruwe ne kusu
 フチアベ、エー、ネヤッカ、、アー、イカスイワー
 huci ape ne yakka i=kasuy wa
 チセコロ、オ、ニッパー、、コロ シイエイエ
 cise kor nispa kor siyeye

「どうして恥ずかしくも
 なく貧乏人の娘が
 服装もみずぼらしい者が
 このように恥ずかしくもなく
 ニッパの所へ来た」とひそひそと
 私に言う声を聞いたけれども、
 家の中には、あのように言われていた
 病気の男の周囲に
 外とか家の中にとか
 神様へ祈る人たちとニッパたちがいる
 声を聞くとか見るとか
 しながらいたところ、それから
 炉端に私は座ってから
 実はこのようなわけで
 助けるために私が下りたのだから
 火の神であっても私を手伝って
 家の主人の持つ病気を

ネウンカ アカラワ アトク、⁽²⁶⁾ トッテッカ

neun ka a=kar wa a=totekka

何とかして治す

クスネナー セコロ ハウエアナンコロ

kusu ne na" sekor hawean=an kor

つもりですよ」と言いながら

フチアペ エウンカ ピヌピヌー⁽²⁷⁾、

huci ape eun ka pinupinu,、

火の神へも私はささやき

ヤヤスラニアン テッ アクス オロワノー

yayasurani=an tek akusu orowano

すぐに自分の窮状を知らせて、すぐそれから

シノッチャキアン トゥスシノッチャ アキ

sinotcaki=an tusu sinotca a=ki,

私は歌を歌った。巫歌を歌い、

アイエカ エラミッカリフ、トゥスシノッチャ

a=ye ka eramiskari p, tusu sinotca

言ったこともなかった巫歌

アイエー ルウェネアクス オカウタラ オピッタ

a=ye ruwe ne akusu oka utar opitta

を私が言うと、いる人たちがみんな

イコカヌ ヒネ オカロッアン⁽²⁸⁾ ヒネ

ikokanu hine oka rok an?? hine

関心を持って聞いていて

オラー ネー トゥスアン、ア、カタ

ora ne tusu=an ka ta

それからその神憑った状態で

マッネヒネ タン チセコロ ペウレ

"mak ne hine tan cise kor pewre

「どうして、この家の若い

オッカヨ シイエ、シイエイエモトホ、オー、

okkayo siyeye motoho,、

男が病気がったのかの原因を

ア、アイエ クスネワー セコロ

a=ye kusu ne wa" sekor

私が言うつもりですよ」と

ハウエアナン ワ、ネ、ネーノイネ

hawean=an wa, ne, noyne

言って、そのように

オラーノ シノッチャキアンコロ、

orano sinotcaki=an kor,、

それから巫歌を歌いながら、

チセコロ ペウレカッケマッ

"cise kor pewre katkemat

「家の若い嫁さんが

ホクフ ケッケ クス、エイタサ

hokuhu keske kusu eytasa

その夫を恨んだので、とても

イソン ヒ、ヒ、ケッケ クス

ison hi keske kusu

狩が上手いことを憎んだために

ネウンカ カヲワ、ア、、イペサッ クニ
 neun ka kar wa ipesak kuni
 セコロ ヤイス ワクス、ウ、、
 sekor yaynu wa kusu
 チセコロ ペウレニシパ オイペビヒ
 cise kor pewre nispa oyepihi
 アシンル アサム、、オマレワ アン
 asinru asam omare wa an
 ルウェネクス、ウー、、ネワアンペ
 ruwe ne kusu ne wa an pe
 アイェワ スンケヘネヤー アンペヘネヤー
 a=ye wa sunke he ne ya anpe he ne ya
 ネー メノコルー オハラバレワ
 ne menokoru oharpare wa
 インカラバヤッ ビッカ ビッカ セコロ
 inkarpa yak pirka pirka" sekor
 ハウエアナン ルウェネアクス
 hawean=an ruwe ne akusu
 オラー ナニー チセコロウタラ
 ora nani cise kor utar
 ネ、エー、オッカヨ コロ イタンキ、イ、、
 ne okkayo kor itanki
 ビッパバ⁽²⁹⁾ アクス ネ イタンキ
 pispapa akusu ne itanki
 オアリサム ルウェネヒネ
 oar isam ruwe ne hine
 オラー ナニー ネー メノコルー オッタ
 ora nani ne menokoru or ta
 コタンコロウタラ バイェバヒネ
 kotan kor utar payepa hine
 アシンル オハラバレ ルウェネアクス
 asinru oharpare ruwe ne akusu
 ソンノカ ネアー イタンキ、イー、、
 sonno ka nea itanki

何とかして狩が下手になるように
 と思ったために
 家の若い主人の食器を
 便所の底に入れていた
 ことだからであるという理由を
 言って、嘘か本当か
 その女便所を空にして
 見たらいいぞ、いいぞ」と
 私が言うと
 それからすぐに家族の人たちが
 その男のお椀
 を数えるとそのお椀が
 まったく無くなっていて
 すぐその女便所に
 村人たちが行って
 便所をさらうと
 本当にあのお椀が

ア ウッシレ ヒネ アンルウェネヒネ	
a=upsire hine an ruwe ne hine	伏せられていたので
ネー イタンキ ナニー コロワ	
ne itanki nani kor wa	そのお椀をすぐに持って
ペトッタへ ナイオッタへ	
pet or ta he nay or ta he	川の所だったか沢だったかへ
コロワ バイエパワ	
kor wa payepa wa	持って行って
フライパロク フライパロク	
huraypa rok huraypa rok	洗い続けた
ピリーカノ フライパロク ヒネ オラー	
pirkano huraypa rok hine ora	きれいに洗ってから
コロワ アフッパ ヒネ ナニー	
kor wa ahuppa hine nani	それを持って(家)入ってすぐ
イナウケロク イナウケコ、ロッパ ⁽³⁰⁾ ヒネ	
inawke rok inawkepa rok hine	イナウを削って削って
ネ、エー、イタンキ イナウー、コ、ア、、	
ne itanki inaw ko, a, ,	そのお椀が御幣で
アコタッタク ルウェネヒネ オラー	
a=kotaktaku ruwe ne hine ora	巻き付けられ、それから
ナニー バンサヨ コタン、、チセコロ	
nani pan sayo kotan, , cise kor	すぐに薄めのお粥を家にいる
カッケマツ カラヒネ ネー イタンキ	
katkemat kar hine ne itanki	ご婦人が作って、そのお椀
アニーネー タネ ライクニ アラム、、	
ani ne tane ray kuni a=ramu, ,	でもって、今にも死にそうに思われた、
ライクニ アテレコロ アン オッカヨ	
ray kuni a=tere kor an okkayo	死ぬのを待たれていた男
パロアオッテ、ネー イタンキ アニ	
paro a=otte, ne itanki ani	の口につけられた。そのお椀で
パロアオッテ ルウェネ アクス	
paro a=otte ruwe ne akusu	口につけられると
ネッカ パロアオッテ ヤッカ パロホワ	
nep ka paro a=otte yakka paroho wa	何を口につけられても、その口から

チョコクセ コロ アン アッ⁽³¹⁾

cokokse kor an a p

ネー イタンキ アニー パンサヨー

ne itanki ani pan sayo

アオッテアクス ルキ ルウェネヒネ

a=otte akusu ruki ruwe ne hine

オラ エアァキーンネ チセコロウタラ

ora earkinne cise kor utar

ネヤッカ オカウタラ

ne yakka oka utar

エヤイコブンテッパ ラポッケ オラー

eyaykopuntekpa rapokke ora

シマカーカ キー ネー サヨーカ、

sikmaka ka ki ne sayo ka

パロアオッテ ヒケカ パロオロワ、ワ、

paro a=otte hike ka paro oro wa

チョコクセ ソモキノ ルキーカ キーワ

cokokse somo ki no ruki ka ki wa

シクヌー ウシ アエパレーヒ オラー

siknu usi a=epare hi ora

ナニー ヤイツイェ、ネレアン ヒネ

nani yaysoyeneren=an hine

アウニタ ホシビアンヒネ

a=uni ta hosipi=an hine

アウニタ エッアンヒネ アオナエウン

a=uni ta ek=an hine a=ona eun

アイェルウェネアクス アオナハー、

a=ye ruwe ne akusu a=onaha

イコイキーカ キー、タツネネヒー

i=koyki ka ki, tapne ne hi

エイェワ エサーンヒ ネーヤクン

"e=ye wa e=san hi ne yakun

アトゥラワ サナンヤッカ

a=tura wa san=an yakka

こぼれていたものだったが

そのお椀で薄いお粥

をつけられると飲み込んで

それから本当に家族

であれ、いる人たち

が喜んでいたところ

目を開きもして、そのお粥も

口につけられても口から

こぼさずに飲み込んで

命をとりとめたのを確認してから

すぐ静かに私は外に出て

私は自宅に戻って

自宅に帰って父へ

言うと私の父は

私を叱って次のように言った

「お前が言って下りるのであれば

私が一緒に下りても

ピリカッヘネ モシマノー、エノ、

pirka p hene mosmano

エアッパアン ハウエアン セコロ

e=arpa an?? hawean" sekor

アオナ ハウエアン コロカ タッネカネ

a=ona hawean korka tapne kane

オハイス オッタ、ア、ソモ アイェノ

ohainu or ta somo a=ye no

サナン クスネーヒ オハイス アンベ

san=an kusu ne hi ohaynu=an pe

ワクス ネッカ アイェカ

wa kusu nep ka a=ye ka

ソモキノー サナンルウェネーヒ

somo ki no san=an ruwe ne hi

アイェ ルウェネアクス オラー

a=ye ruwe ne akusu ora

アオナハー イコブンテッカ キー、カ、

a=onaha i=kopuntek ka ki ka,

ニッパ アエオリパッペ アッ

"nispa a=eoripak pe a p

モシマノ エサン セコロ アンベ

mosmano e=san" sekor an pe

アイェコロ イコブンテッカ キーコロ

i=ye kor i=kopuntek ka ki kor

オカアン ルウェネアクス イジムネヒケ、エ、

oka=an ruwe ne akusu isimne hike

ネー コタンコンニッパ エッ ヒネ

ne kotan kor nispa ek hine

ポロ、ポロシケ キー ヒネ

poro sike ki hine

コタンコロ ウタラカ トウラヒネ

kotan kor utar ka tura hine

ポロシケ キパヒネ アッキパヒネ オラー

poro sike kipa hine arkipa hine ora

よかったものなのに黙って

お前は行ったのか?」と

私の父が言ったけれども実は

神のお告げの中にそれを言わずに

下りるべきであることを聞かされたもの

だから何も私は言いも

しないで下りたのであること

を言うと、それから

父は私を誉めてくれて

「ニッパを気の毒に思っていたが

しゃべらずにお前は下りた」ということ

を言いながら私をねぎらって

いると翌日になって

その村長が来て

大きい荷物を作って

村の人たちも一緒に連れて

大きい荷物を作って来て、それから

アアフンケパクス アイェ ルウェネアクス
 a=ahunkepa kusu a=ye ruwe ne akusu 彼らを入れるために私が言うと
 ア、アフッパ ルウェネアクス アオナハ エウン
 ahunpa ruwe ne akusu a=onaha eun 彼らが入って私の父へ
 エアヲキンネ ヤイライケ オルッペ
 earkinne yayrayke oruspe 本当に感謝している言葉をかけた
 エマッネポホ アンクスケライボ
 "e=matnepoho an kusu keraypo 「あなたの娘さんがいたおかげで
 アポホ アシツヌレ エアシカイ ワクス、
 a=poho a=siknure easkay wakusu 私の息子は命を救われることができたので
 ニッパ、エウン、ネヤー カッケマッ
 nispa eun ne ya katkemat 旦那様へとか奥様と
 ポンメノコ エウン ネヤー、ア、アシンペー
 pon menoko eun ne ya asinpe 娘さんへとか、お礼の品
 アセワ アヲキアン ルウェネ セコロ
 a=se wa arki=an ruwe ne" sekor を背負って来たのです」と
 ハウェオカバコロ コタンコンニッパ ウタラ
 haweokapa kor kotan kor nispa utar 言いながら村のニッパたち
 ポロンノ アシンペ、セ、セワ アヲキバ
 poronno asinpe se wa arkipa がたくさんのお礼の品を背負って来
 ヤッカ、アー、アオナハ ネー アシンペカ
 yakka a=onaha ne asinpe ka ても私の父はそのお礼の品を
 ウッカ ソモキノ ネッカ アシンペ、ア、
 uk ka somo ki no "nep ka asinpe 受け取りもせずに「何もお礼の品
 アコンルスイ ワ、アウエンマッネボ
 a=kor rusuy wa a=wenmatnepo を欲しくて私の貧乏娘
 イキヒ カ ソモキ ヒ クス
 iki hi ka somo ki hi kusu ne がした事でもありませんので
 ネーアシンペ アナッネ ネ、ア、ネー、
 ne asinpe anakne ne, a, ne, その感謝の品々は、その一、
 アウッ、アウッ ソモキ クスネナ
 a=uk somo ki kusu ne na" 私は受け取れませんぞ
 ネ セコロ アオナハ ハウェアコロ
 ne?? sekor a=onaha hawe a kor と私の父が言って

サッコパン ⁽³²⁾ ルウェネアクス オラー	
sapkopan?? ruwe ne akusu ora	強く拒んだ??ので
ネー ウタラ コタンコロウタラ	
ne utar kotan kor utar	その村人たちが
エヤイラムキカラパッ ネクス オピッタ	
eyayramkikarpa p ne kusu opitta	諦めたので全て
セワ アッキパッ オラースイ	
se wa arkipa p ora suy	背負って来た物をそれからまた
セワ サッパ ヒネー	
se wa sappa hine	背負って下がって
オカアン ルウェネアクス オラー	
oka=an ruwe ne akusu ora	私たちが暮らしていると
タネ オホンノ アナンルウェネアクス	
tane ohonno an=an ruwe ne akusu	今しばらく私たちが暮らしていると
スーイ ネア コタンコンニッパ、トウラノ	
suy nea kotan kor nispa turano	また、あの村のニッパと一緒に
ネアー イボネ、エー、ク、トウラノ、ノ、	
nea iponekur turano	あの息子である人と一緒に
コタンコロ ウタラ トウラノ、オ、	
kotan kor utar turano	村の人たちと一緒に
アラ、アッキバヒネ オラー アフッパールウェ、	
arkipa hine ora ahuppa ruwe,	やって来て (家に) 入って
オラーノー ヤイライケオルッベ アオナエウン	
orano yayrayke oruspe a=ona eun	から感謝の言葉を私の父へ
イエロク イエロクパ ヒケカ	
ye rok ye rokpa hike ka	言い続けたのだが
アオナハ アナッネ エネハウェアニー	
a=onaha anakne ene hawean hi	私の父はどのように言った
ウェンクル アネワ オカアンベ	
"wenkur a=ne wa oka=an pe	「貧乏人として私が暮らしていたものを
エネ ニッパ オロワ ナーネンネンノ	
ene nispa or wa na nen nen no	このようにニッパから色々と
アイイエ アシンペネヤ アイコレヤッカ	
a=i=ye asinpe ne ya a=i=kore yakka	言われてお礼の品々を私に与えられても

アウッカ アコライニウケシ、ルウェネ ヒ
 a=uk ka a=korayniwkes, ruwe ne hi
 アオナハ イェコロ、オー、イェコロ
 a=onaha ye kor ye kor
 オカアン ラポッケ オラ ネー、エ、
 oka=an rapokke ora ne
 ニッパ、コタン、イッカラプトゥウン、ウー、
 nispa, kotan, iskar putu un
 イヨナネニッパー エネハウェアニ、ネ、
 iyonane nispa ene hawean hi ne
 アコンニッパー マッネポホ アンクスケライポー
 a=kor nispa matnepoho an kusu keraypo
 アポホ アシクヌレ ルウェネクス
 a=poho a=siknure ruwe ne kusu
 テワノー、オ、アコンルスイ、ア、アエトッ
 te wano a=kor rusuy, a=etun
 クス エカン ルウェネクス、ウー、
 kusu ek=an ruwe ne kusu
 ソネー イヨナネークルカ エセワ
 sone iyonanekur ka ese wa
 マッネポホ アポホ パロオイキ
 matnepoho a=poho paro oyki
 ク、キ、クニー ラムワ、ワー、
 kuni ramu wa, wa,
 イコレ ソモキヤ セコロ
 i=kore somo ki ya" sekor
 ハウエアン ルウェネアクス オラーノ アオナ
 hawean ruwe ne akusu orano a=ona
 エネハウェアニ、イー、ア、アサッコパンカラ⁽³³⁾
 ene hawean hi "a=sapkopankar
 ハウエネ アマッネポホ アナッネ
 hawe ne. a=matnepoho anakne,
 ウェンクル、ウ、アネワ エネアン
 wenkur a=ne wa ene an

受け取るのも難しいことであること

を私の父が言いながら

いたところ、それからその、

ニッパ、村、イシカリ河口に住む

父親のニッパが次のように言った

「旦那様の娘さんがいたおかげで

私の息子が生き返れたので

これから彼女を嫁に欲し

くて来たのですから

本当にお父さんも承諾して

娘さんが私の息子を養う

つもりと思って

彼女をくださらないか」と

言ったので私の父は

このように言った「私はとても嫌??

なのです。私の娘は、

私たちは貧乏人でして、このように

イコイトゥパアンコロ オカアン ペ オラー

ikoytupa=an kor oka=an pe ora

ニッパオルン アマチネポ アッ、

nispa or un a=matnepoho

アコラヨヤクン オラー、アー、ナーネンノ

a=korar yakun ora na nen no

アイェ ヒーカ アコライニウケッ

a=ye hi ka a=korayniwkes

アエラムポキウエン⁽³⁴⁾ クス オラー

a=erampokiwen kusu ora

アッタクピ アコロペ、

ar takupi a=kor pe,

シネ マッネポネクス、ウ、

sine matnepo ne kusu

シソイタ アアヌワ アシカオイキレ

sisoy ta a=anu wa a=sikaoykire

オンネオルン アシカオイキレ、ク、クニー

onne or un a=sikaoykire kuni

アラムコロ アナン ルウェネ クスー

a=ramu kor an=an ruwe ne kusu

ソモアネクニー ネーセコロ アオナ

somo an kuni ne" sekor a=ona

ハウェアン ルウェネアクス オラーノ

hawean ruwe ne akusu orano

ネ、 、イシカヨプトゥウン ニッパネヤー

ne, , iskar putu un nispa ne ya

イポネクルネヤー エネハウェアニ、イー、

iponekur ne ya ene hawean hi

ネー マッネポホーカ イヨナネクルカ

"ne matnepoho ka iyonanekur ka

イユヌネクルカ オピッタ アトゥラワ

iyununekur ka opitta a=tura wa

アー、アコタヌタ オカアンワ シソイタ

a=kotanu ta oka=an wa sisoy ta

何も持たずに暮らしていたのが

ニッパのところへ私の娘を

やったならば、もう、どうにも

言うことも出来かねます。

気の毒に思いますので、それに

たった一人だけの私を持ったもの、

一人娘なので

自分の近くにおいて私を養わせ

死ぬまで面倒をみてもらおうと

思いながら暮らしていたので

あるまじきことなのです」と私の父が

言ったのでそれから

そのイシカリ河口のニッパとか

その息子とかが次のように言った

「その娘さんもお父さんも

お母さんもみんな私が連れて

私たちの村で暮らして私の家の近くに

ナニー シンナ アアヌワー
 nani sinna a=anu wa
 タン ポンメノコ アンクス
 tan pon menoko an kusu
 シクスアンペ ネクス
 siknu=an pe ne kusu
 イヨナネ ウタラ ネヤッカ ケウトゥム
 iyonane utar ne yakka kewtum
 ビッカ ウタラ ネワ クス
 pirka utar ne wa kusu
 マッネボホ アンクスケライボ
 matnepoho an kusu keraypo
 シクスアンクス ネー イヨナネクル
 siknu=an kusu ne iyonanekur
 ネヤッカ イユヌネッ ネヤッカ
 ne yakka iyununep ne yakka
 パロアオイキ カシアオイキワ
 paro a=oyki kasi a=oyki wa
 ア ビッカオンネレ クスネナ
 a=pirkaonnere kusu ne na
 エーセワイコレ セコロ アーンペ
 ese wa i=kore" sekor an pe
 カッワ、アオナ カシエホッケバ⁽³⁶⁾
 kas wa, a=ona kasiehotkepa
 ロッ ヒーネ オラ アオナハカ
 rok hine ora a=onaha ka
 エセ ルウェネ ヒネオラー
 ese ruwe ne hine ora
 インネウタラ オラー イトゥラヒネ オラー
 inne utar ora itura hine ora
 アコロワ オカイペ、エー、オピッタ
 a=kor wa okay pe opitta
 アウオマレカ ソモキノ
 a=uomare ka somo ki no

すぐに別に住ませます。
 この娘さんがいたおかげで
 私は命を救われたのだし
 お父さんたちも心の
 良い人たちであったから
 娘さんがいたおかげで
 私が救われたのだから、そのお父さん
 であれ、お母さんであれ
 私が食わせて養って
 安心できる老後にさせるつもりですよ。
 承諾してください」ということを
 私の父へ強く言っ
 て、そしたら父も
 了承した。そして
 たくさんの人たちがそれから一緒に行動して
 私たちの持っていた物全部を
 私たちが集めなくても

コタンコロウタラ エウン アコララペ	
kotan kor utar eun a=korar pe	村の人たちに持たせる物
アナッネ アコララ ヒネー オラー	
anakne a=korar hine ora	は持たせてから
トゥッレツ ビリカ ウッケ	
tup rep pirka uske	二つ三つ良いところ
アウオマレヒネ オラー アオナーカ	
a=uomare hine ora a=ona ka	を集めて私の父も
アウヌーカ コロワ オカイベ	
a=unu ka kor wa okay pe	母も持ち物
ウオマレバ ヒネ セーヒネ オラー	
uomarepa hine se hine ora	を集めて背負ってから
ヤイカターカ アコロワ オカイベ	
yaykata ka a=kor wa okay pe	自分も私の持っていた物
アウオマレワ アセカネヒネ	
a=uomare wa a=se kane hine	をひとまとめにして背負って
ネー ニッパウタラ アトゥラヒネ	
ne nispa utar a=tura hine	そのニッパたちと一緒に
イシカラプトッフタ コタンコンニッパー	
iskar putuhu ta kotan kor nispa	インカリ河口に村を持つニッパ
オロタ パイエアーン ワー	
oro ta paye=an wa	の所へ行ってから
オリパットゥラノ オカアン オラー	
oripak turano oka=an ora	慎重深く私たちは暮らした。それで
ネアー メノコー ホッキアン ア メノコ	
nea menoko hoski an a menoko	例の女、最初にいた女は
ウェンケウトゥム コロ ペネクス	
wen kewtum kor pe ne kusu	悪い精神を持つ者なので
ナニー コロワ オカイベ ウオマレワ	
nani kor wa okaype uomare wa	すぐに持ち物を集めて
アエ ヤイシトマ ヤク イェ コロワ	
"a=eyaysitoma" yak ye, kor wa	「私は恥ずかしい」と言いながら
オカイベ ウオマレワ イサム	
okay pe uomare wa isam	持ち物を集めていなくなった

セコロ アンペーカ アヌコロ
 sekor an pe ka a=nu kor
 アナンベネアッ ソンノカ
 an=an pe ne a p sonno ka
 サナナクス オアリサム ウッケタ
 san=an akusu oar isam uske ta
 パイエーンヒネ オラー ナニ、イー、
 paye=an hine, ora nani
 ヤイカタ アナッネ ネーコタンコンニッパ
 yaykata anakne ne kotan kor nispa
 ポホ、オー、パロアオスケ ク、クニ
 poho paro a=osuke kuni
 アイイエッ ネクス オロタ
 a=i=ye p ne kusu oro ta
 パロアオスケ コロ アナン オラー
 paro a=osuke kor an=an ora
 アオナハ ウニヒカ ナニー
 a=onaha unihi ka nani
 コタンコロウタァ イエカスイワ
 kotan kor utar i=ekasuy wa
 ビリカチセ アカラワ オロタ
 pirka cise a=kar wa oro ta
 アオナハ アウヌフ ナニ シンナ
 a=onaha a=unuhu nani sinna
 ビリカ アシッチセオッタ アアヌワ オラー
 pirka asir cise or ta a=anu wa ora
 エウン、ウー、スケピッノ イベピッノ
 eun suke pisno ipe pisno
 アコイヤニネヤ トッラノ オカアン
 a=koyyani ne ya turano oka=an
 アシウト ニッパ シウト カッケマッ
 a=siwto nispa siwto katkemat
 ネヤッカ アービリカー イベレー アッ
 ne yakka a=pirkaipere a p

という事も私は聞いて
 いたのだったが本当に
 下りると彼女が全然いない所に
 私たちは行って、それからすぐ
 自分へは、その村のニッパ
 の息子が私を養っていくのだと
 言われたので、その場所で
 養われて暮らしていたら
 私の父の家もすぐに
 村人たちが手伝って
 立派な家が作られて、そこに
 私の両親がすぐ別に
 立派な新しい家に置かれてから
 そこへ料理するごとに食事するごとに
 私が届けて食べさせるとか一緒に暮らす
 お舅さんとお姑さん
 だのに美味しい食事をさせていたのだが

ア ビリカコロ コロ オカアーンワ
a=pirkakor kor oka=an wa
オラーノ トッラノ アナン イポネクル
orano turano an=an iponekur
ネヤッカ イナツタ、ア、、イオマツヘー
ne yakka inap ta i=omap he
イエーヒ、エ、エアンクスケライボ
ye hi "e=an kusu keraypo
シッヌアンペネクス ネウンアンヤッカ
siknu=an pe ne kusu neun an yakka
ネウン、、ヤッカ、カー、ピリカノー、オー、、
neun,, yakka, ka pirmano
トッラノー オカアン アオナハ アウヌフ
turano oka=an a=onaha a=unuhu
ネヤッカ アピリカー オンネレ クスネナー
ne yakka a=pirkaonnere kusu ne na"
セコロ トッラノ アナン、アン、、
sekor turano an=an an,,
アホクフカ ハウエアンコロ
a=hokuhu ka hawean kor
ピリカ ウウエトッラッテ アンコロ
pirka ueturaste=an kor
オカアン ラポッケ オラー オハイヌアーンカ
oka=an rapokke ora ohainu=an ka
キツネクス オラ カムイトッレンアンワ
ki p ne kusu ora kamuyturen=an wa
ネッカ、アー、、ペトプッタ ヘネー
nep ka petopot ta hene
ベテトッタ ヘネー ネッカ アンコロ
petetok ta hene nep ka an kor
ネワアンペ アイコピシクスー、アイ、、
ne wa an pe a=i=kopisi kusu
アイヌウタ ヲ イユ、イユコウエカ ヲ パワ、アー、、
aynu utar i=ukouekarpa wa,,

私は大切にしながら暮らして
それから一緒に暮らす息子さん
であっても何とまあ、私を大事にすることか
彼が言うことは「お前がいたおかげで
私が助かったのだから何があっても
何とかして幸せに
一緒に暮らし、お父さんとお母さん
であれ素晴らしい老後を送らせるつもりですよ」
と一緒に私たちは暮らした
夫もそれを言いながら
仲良く連れ添いながら
暮らしていた一方で私はお告げを聞くことも
出来たので神様が私に憑いて
何か河口とか
上流とかに何かあると
そういったことを尋ねられるため
人々が私の所に集まって

、 、 カー キツネクス ポーヘネ
 ,, ka ki p ne kusu po hene
 アエニッパネ アエアイヌコカラ⁽³⁶⁾ 、 、
 a=enispane a=eaynukor, ,,
 コロコロ、 あはん、 、 、 オカアン
 kor kor, AHAN, ,, oka=an
 ウエインカラ カムイトゥレンアン
 ueinkar kamuytüren=an
 ベネクス ビリカ ウエトゥラッテアンコロ
 pe ne kusu pirka ueturaste=an kor
 オカアンラポッケ ポーカ アコロワ
 oka=an rapokke po ka a=kor wa
 アオナハー ウタラカ アポホーウタラカ
 a=onaha utar ka a=poho utar ka
 ア、 スカラ、 、 エリキヌカラ⁽³⁷⁾
 a=erikinukar
 アシウトホ ウタラ ネヤッカ
 a=siwtoho utar ne yakka
 アピリカコロ コロ オカアンベネクス
 a=pirkakor kor oka=an pe ne kusu
 アー、 アシウトホ ウタラ ネヤッカ
 a=siwtoho utar ne yakka
 アポホ ネヤッカ
 a=poho ne yakka
 アマツネポホ ウタラ ネヤッカ
 a=matnepoho utar ne yakka
 スカラワ エヤイコブンテッ
 nukar wa eyaykopuntek
 エリキヌカラコロ オカアン ラポッケ
 erikinukar kor oka=an rapokke
 アヘコテニッパ ネヤッカ
 a=hekote nispa ne yakka
 エ、 、 イナッタ アオナハ アウヌ
 inapta a=onaha a=unu

(集まり)もするので、なおいっそう
 裕福になって誰をも大事にし
 ながら私たちは暮らした。
 透視する神様が私に憑いた
 ので幸せに仲むつまじく
 暮らしている間に子供も出来て
 父親たちも私の子供たちも
 幸せになり
 お舅さんたちであっても
 大切にしながら暮らしていたので
 私のお舅さんたちであっても
 私の子供であっても
 私の娘たちであっても
 見て喜び
 立派になって暮らしていた間
 私の旦那様であっても
 なんとまあ聞いたこともない程に私の両親

ヌヌケワ イキヤカ アエラミシカリノ

nunuke wa iki ya ka a=eramiskari no

ヌ、ヌヌケワー、イコ、、ワー イコレ コロ

nunuke wa i=kore kor

ピリカ ウエトゥラッテ アキコロ

pirka ueturaste a=ki kor

オカアン ラボッケ アポホウタッカー

oka=an rapokke a=poho utar ka

アマッネポ ウタッカー タネ

a=matnepo utar ka tane

ルッネシリカー アオナハ カ

rupne siri ka a=onaha ka

アウヌフカ スカラ ラボッケ オラー

a=unuhu ka nukar rapokke ora

オンネ、エー、、オラー アシウトニッパウタラ

onne ora a=siwto nispa utar

ネヤッカ オンネ オカタ ポーカ

ne yakka onne oka ta po ka

ポロンノ アコロワ オラー

poronno a=kor wa ora

アオナハ ウタラ ネヤッカ

a=ona utar ne yakka

アヌラッパ クニカ アポウタラ

a=nurappa kuni ka a=po utar

アエバシッマー アッパケナワノ⁽³⁸⁾

a=epasikma "atpake wano

イシカラ プトゥフタ オカアン ルウエカ

iskar putuhu ta oka=an ruwe ka

ソモネー、エー、シリホントムワノ

somo ne siri hontom wano

イシカラ プトゥフタ、アー、コタンコン、、

iskar putuhu ta kotan kon,,

コタン オッタ イヨロッアンペ

kotan or ta iyorot an pe

の面倒を見ていたことかも私は知らないで

孝行してくれながら

幸せに連れ添いながら

暮らしていたところ私の息子たちも

娘たちも今は

成長して大人になった様子を父も

母も見ていたところ

亡くなって、私のお舅さんたち

だの亡くなった後に子供を

たくさん私は持って、それから

私の父たちであっても

供養することを私の子供たち

に教えた。「最初から

イシカリ河口に私たちがいたのでも

なく、途中から

イシカリ河口に村の、、

村に仲間入りした者が

アオカネクス イ、イシカラホントモウン

aoka ne kusu iskar hontomo un

ネヤッカ アッパケタ オカアンベ

ne yakka atpake ta oka=an pe

イシカラホントモ ネアクス

iskar hontomo ne a kusu

イシカラ ホントモ ネヤッカ

iskar hontomo ne yakka

イシカラ プトッフ ウン ウタラ

iskar putuhu un utar

トゥラノ ネヤッカ

turano ne yakka

イテキー ウコケウトゥムウエン サッノ

iteki ukokewtumwen sakno

ウコウエンサンベ サッノー ウコパイェオカ、アー、

ukowensanpe sakno ukopayeoka

パイェヤッ ピリカナー セコロ

paye yak pirka na " sekor

ピリカノ アカッパオッチ、エー、コロ

pirkano a=kaspaotte kor

オンネアン ルウェネ コロカ

onne=an ruwe ne korka

アオナハ ネヤッカ アシウトニッパウタラ

a=onaha ne yakka a=siwto nispa utar

ネヤッカ アポウタラ アマッネポウタラ

ne yakka a=po utar a=matnepo utar

ネイパッノ オカヤッカ イカンイカン⁽³⁹⁾

ney pakno oka yakka ikanikan??

アーン、ヌラッパ⁽⁴⁰⁾ オイラバナー セコロ

en=nurappa oyrapa na" sekor

アンペ ビリカノ アコイタムイェ オラー

an pe pirkano a=koytakmuye ora

アコタヌウタラ エウン ネヤッカ

a=kotanu utar eun ne yakka

私たちがなのでイシカリの中程へ

であれ、最初に暮らしていたのだが

イシカリの中程であったのだから

イシカリの中程でも

イシカリの河口にいる人たち

と一緒になくても

決して悪い根性を持たないで

お互いに悪気なく互いに交際

したらいいぞ」と

私はよく言いつけながら

年老いたのだけれども

私の父でも舅さんたち

でも、私の息子や娘たちよ

いつまでたっても私たちへ??

先祖供養を??忘れるなよ」と

いったことをよく言い聞かせてから

村人たちへだの

アポウタラ アコイタムイエアー	
a=po utar a=koytakmuye a	私の子供たちによく言い
アコイタムイエアー コロ	
a=koytakmuye a kor	聞かせながら
オカアンアイーネ オンネアンペネアクス	
oka=an ayne onne=an pe ne akusu	暮らしたあげく私が死んだと
アイエー セコロ シネーカッケマツ	
a=ye sekor sine katkemat	言ったと、一人の婦人が
イソイターク セコンネワー	
isoytak sekor ne wa,	話したんだとよ。

5. 註

- (1) 録音機のスイッチを入れるのが遅れて語り始めの部分が欠落した。同物語が『平成8年度アイヌ文化調査報告書 (アイヌ民俗調査XIV)』北海道教育委員会(1997)において貫気別地方の伝承として報告されている。採録年月日や伝承経緯については記載されていない。これを以下に引用する場合『平成8年度調査報告』と略記する。
- (2) 小川によると、子供を数える場合にシネッ トゥッ sinep tup「一つ、二つ」といい、大人の場合はシネン トゥン sinen tun「一人、二人」と表現するのだという。
- (3) 小川によると、キナルル kina rur「山菜の汁物」に鰯油を入れて食べる。
- (4) ホントム hontom「中程」は、プトゥ putu「河口」の言い誤りである。
- (5) 夫が熊をたくさん獲ると魂送りを頻繁にしなければならない。若くて未熟な妻は儀式の準備が面倒になって狩上手の夫を憎んだ。小川によると、スケエトランネ suke etoranne「料理を怠ける」する女なのだという。
- (6) 小川によると、男の持ち物を女便所に、女の持ち物を男便所に入れることで憎んだ相手を祟ることができる。それを入れた者ではなく、その持ち主の生命力が失われてしまう。
- (7) 小川によると、この現象はオハイヌ ohainu「空聞き」という。神が人助けのために良い人間を選んで聞かせるものなので単純に「空聞き、幻聴」とは訳せない。むしろ「神託」の一つの形態であるらしい。
- (8) ニッパ nispa「紳士、長者、物持ち」とカムイ(神、自然、立派な人)を重ねて「とても立派な人」と表現しているらしいが要確認。小川によれば「人間は全て神からの授かり物だから、人間はみんなカムイサシミ kamuy sasimi「神の子孫」だ」という。
- (9) 小川によると、エパウテンケ epawtenke は「病気の者を助けてくれとせき立てる」であるが発音は要確認。
- (10) 小川によると、トゥレンカムイ turen kamuy「自分の憑き神」に祈った後にトゥスシノッチャをする。これは、神が自分に乗り移るまで歌うものである。座った状態で胸の前で合掌し、「ハイー、ハイー」と言いながら体を左右に揺らす。火の神には祈らない。物事の全貌を視覚によって情報を得る。そして、その内容を語るときには節を付けない口調になる。祖母がするのを頻繁に見ており、自らも実体験がある。同じ血統に受け継がれる能力であるという。上田によれば、フチアベ huci ape「火の神」に祈っ

た後、トッスシノッチャをする。動作については小川の説明と同じだが、声は「ホー、ホー」という。神からの情報伝達は視覚なのか聴覚なのかわからない。お告げの内容を語る時も節を付けるので、それを含めてトッスシノッチャという。

- (11) オサム osam と聞こえる箇所はアサム asam 「底」と言うつもりだったらしい。この文句は病気の息子の父親である。
- (12) イシカラ ホントモタ iskar hontomo ta 「イシカリの中程に」とあるが、『平成8年度調査報告』ではイシカラ エトコ タ iskar etoko 「イシカリの上流に」と言っている。
- (13) 上田によると、イソonnerではなくイソン アスルアシ ison asur as 「名獵師として評判が高い」と言いたかった。
- (14) イシカリ河口に住むニッパの息子の数は小川で「二人」だったが上田で「一人」に変移している。『平成8年度調査報告』には人数を示さないで語っている。
- (15) アン an 「いる」の第一人称接辞を外したので次行からアナン an=an 「私がいる」と言い直す。
- (16) トゥンニ tunni 「柏」はペロ pero 「檜」の言い誤り。以下に同様の誤りが続くが後半はペロ pero と言うようになる。日本語訳はトゥンニ tunniと言われている箇所も「檜」として訳す。
- (17) 両語り手はオハイス ohainu 「空聞き」とは神が意図して聞かせる声なのだという。上田はオハインカラ ohainkar 「空見（からみ）」という言葉もあり「どっちも同じだ」という。夢見との関連を伺わせる。
- (18) ニタイ nitay 「森、林」と聞こえるがニテッ nitek 「枝」の言い誤り。
- (19) 上田は『平成8年度調査報告』においてはトゥチュフ tu cup 「ふた月」と語っている。
- (20) 上田によると、アシンル asinru 「便所」はメノコル menokoru 「女便所」と言うべきであったという。
- (21) 小川の語りでは「女便所に夫のお椀を入れる」ことで崇めているが、上田の語りではお椀を「伏せて置く」という動作が加わる変移がある。
- (22) 註17と同様。
- (23) 本来の意味はシムシッカ simusiska 「来訪を知らせる咳払い」である。上田によると「ノックする」こともシムシッカであり、「咳払い」と「物音を立てる」動作は同じ事だという。
- (24) アウナー awna 「(家の) 内側」と言ったが、次行で言い直した。この箇所を後日、イエクテ クスイエ ワ アベサムン アラバアン i=ekte kusu i=ye wa apesam un arpa=an 「私を来させるため私と言われて炉縁へ私が行った」とも言っている。
- (25) 上田によると、ルヤンペ ruyanpe ではなくウェンペ wen pe 「貧乏な者」またはウェンメノコ wen menoko 「貧乏な女」と言いたかった。
- (26) アトテッカ a=totekka 「私が彼を治す」と言うつもりだったが、アトッ、a=tok、と言い損なったため、その後に1音づつ区切ってゆっくり発音したと筆者は解釈した。なお、病気の若者はオシソソn osison 「右座」に寝かされている。
- (27) 後日、上田に言い直しもらおうとタツネワ、ワ、アスラニアンクス エッアン ルウェネナー フチアベ イエブンキネワ イコレ セコロ ハウエアンコロ、アクス シノ、トッスシノッチャ アイエ tapne wa, wa, asurani=an kusu ek=an ruwe ne na. huci ape i=epunkine wa i=kore sektor hawean kor, akusu sino, tusu sinotcaki a=ye 「このようなわけで危急を知らせるため 私は来たのです。火の神様、私を守って下さいと言うと本当に、巫歌を私は言った」であり、その際の祈りについて「昔はビヌビヌ イノンノイタッ pinupinu inonnoytak 「ささやく祈り言葉」だったけど、今はエサラ イノンノイタッ esara inonnoytak 「大声の祈り言葉」になった」という。
- (28) オカロク oka rok 「いた（複数形・過去）」の後ろに付くアン an は不明。26ページ上から4行目に

も同様の音がある。

- (29) 上田によると、ピッパバ pispapa 「～を数える」よりもフナラバ hunarpa 「～を探す」の方が適切であるという。
- (30) 上田によると、イナウケパロク inawkepa rok 「イナウを削った (複数形)」と言おうとした。
- (31) 上田によると、今までは口につけた水がパーキサラ pakisar 「口耳 (口角部)」からこぼれていた。
- (32) サッコパン sat kopan かサッコパン sap kopan と発声しているが不明。この場面の言葉を後日、アシンベ アナッネ ソモ アウク クスネナー asinpe anakne somo a=uk kusu ne na 「お礼を私は受け取りませんぞ」、あるいはアシンベ ネー コタンコンニッパ サンケヤッカ アオナ ウッコパン ワ、オピッタ スイ コロ ワ ホシッパ asinpe ne kotan kor nispa sanke yakka a=ona ukkopan wa, . opitta suy kor wa hosippa 「お礼をその村長のニッパが出しても私の父は受け取るのを拒んで、全部彼らが持って帰った」と言い替えた。『平成8年度調査報告』ではアオナハ ウク カ コパン ルウェネアクス a=onaha uk ka kopan ruwe ne akusu 「私の父は受け取ることも拒んで」となっている。上田によると、「引越して行くの嫌だっ」という意味だというのが、ニッパの息子は娘の父親を連れて行くと申し出る以前の場面である。父親自身が下りるのを嫌がったというのではなく「彼女が下りるのを私が嫌う」という解釈も可能である。
- (33) 註32と同様。
- (34) 上田によると、気の毒に思った理由は「家柄が釣り合わなくて相手に悪い」ということである。
- (35) 上田によると、カシエホッケバ kasi' ehotkepa 「無理っしやり」であり、カシエホッケバ アイネ アオナハ エセ oasis' ehotkepa ayne a=onaha ese 「彼が無理に言ったあげく私の父は承諾した」という意味になるという。
- (36) 上田によると、アエアイヌコロ a=eaynukor 「私たちは誰にでも大事にする」という。
- (37) 上田によると、ポカ ポロンノ アコロワ アエリキヌカヲ po ka poronno a=kor wa a=erikinukar 「子供もたくさん持って、子供たちの幸せな様子を見ている」という。子供の身長が伸びたので見上げているということではない。
- (38) アッパケナワノ atpakena wano 「最初の方から??」と聞こえるが不明。12行下にアッパケタ atpake ta 「最初に」とある。
- (39) イカンイカン ikankan?? と聞こえるが不明。語源はイカウン ikaun 「私たちの上へ??」かもしれないが要確認の単語である。
- (40) アン、スラッパ an nurappa と聞こえるが、上田は通常「私たちが供養する」ことをアンスラッパ an=nurappa とわずにアスラッパ a=nurappa と言う。ここは文脈上の解釈でイスラッパ i=nurappa 「私たちへ供養する」か エンスラッパ en=nurappa 「私へ供養する」と言いかけたものと解釈する。上田は「シンスラッパ sinnurappa 「先祖供養」してくれるかーってということ、エンスラッパとかって言う。そんなこと滅多に言わないかも知らんけど、」という。